

ボランティアセンター 東日本大震災支援ニュース

日本医療福祉生協連 近畿ブロック 2011年6月12日 No34
発行担当 たじま医療生協・大谷
みやぎ県南医療生協 槻木事務所 連絡先 090-6056-8275

訪問先々で “支援感謝のお礼と自立への模索も…”

昨日 13ヶ所の作業したお宅を中心に3仮設住宅を訪問してきました。

福島専務・山根さんが朝、瀬井さんも午後にはお帰りになるという中、柴（けいはん・ケアマネージャー）、高田・大谷（たじま・組合員）が加わっての行動でした。

訪問先では、昨日の支援へのお礼から始まり、「こんなにきれいにしていただいた」と、



本当に丁寧な挨拶を頂きました。支援行動にご参加いただいた皆様、ご苦労様でした。

旧坂元中学校（昨日の行動で炊き出しを行った場所）への訪問は、子どもたちが賑やかにスケート遊び

しているのを見て、心温まる思いでした。

常磐線付近に行くと、玄関先の赤・黄・緑の色紙が目につきます。「危険地域に指定されるのではないか」との地域で作業者にも出会いました。「いちご」農家の方でしたが、ここに住みたいとの願いが伝わってきて涙しました。住むのがダメなら次は「いちごハウスづくりの支援」など新参者が思いを馳せたりもしました。

夜、吉永さんのご苦労さん会には地元の村上常務理事も参加いただきました。この中で明日の行動にも同行いただくことになり百人力の思いでいます。

